

事業評価シート【新規事業-1】

事業名	ため池等整備事業			基本計画	章	5	総合戦略	基本目標	
事業コード	501010301				節	1		施策の方向	
課係名	農政課	内線			項	1		施策	
担当者氏名		職名			細項目	4		整理番号	

事業概要	ため池の安全対策工事等を実施し、水難事故を未然に防ぐ。
------	-----------------------------

現在の課題や市民要望など	ため池は、農業用施設として重要な役割を持っているが、ため池周辺において、混住化が進んでいる箇所や遊歩道等が整備され、農業関係者のみでなく一般の市民も立入るようになってきているため、水難事故を未然に防ぐ安全対策が必要となっている。
--------------	--

事業目的	① ため池の安全を確保し、水難事故を未然に防ぐことを目的とする。 ② ③ ④	
------	---	--

個別取組	① ため池等安全対策工事 ③	② ④
------	-------------------	--------

事業による改善・変更点	① ため池への一般市民の立入りを制限することができる。 ③	② 水難事故を未然に防ぐことができる。 ④
-------------	----------------------------------	--------------------------

事業対象	<input checked="" type="checkbox"/> 個人・世帯 <input type="checkbox"/> 団体(民間) <input type="checkbox"/> 団体(公共) <input type="checkbox"/> 内部管理 <input type="checkbox"/> その他 ( )
------	--

内容	① ため池を散策等する市民 ③	② ④
----	--------------------	--------

業務形態	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 負担金・交付金 <input type="checkbox"/> その他 ( )
------	--

内容	① ③	② ④
----	--------	--------

支出根拠	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	法令要綱等名称 ① ③	② ④
------	--	----------------	--------

事業継続	<input type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 複数年度:無期 <input checked="" type="checkbox"/> 複数年度:有期[ 始期 H30 ~ 終期 H31 ]	後年度負担	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
------	---	-------	--

事業費の積算	30年度	転落防止柵設置 L=465m	事業費	18,900	事務スケジュール	年月	内容
			国 県	6,480			
	市 債	10,200					
	その他						
	一般財源	2,220					
	31年度	転落防止柵設置 L=500m 救命用浮き輪設置 67箇所	事業費	21,500			
			国 県				
	市 債	15,000					
	その他						
	一般財源	6,500					
年度			事業費				
			国 県				
			市 債				
			その他				
			一般財源	0			

経費節減効果	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	節減効果の内容
金額	千円	

主要指標	指標の種類		計算方法	目標(推計)値		
	名称			30年度	31年度	年度
	■ 活動指標	① 安全対策の整備		1	67	
		②				
	■ 成果指標	① 整備率		1/68	68/68	
②						

### 事業評価シート【新規事業-2】

項目別評価	1. 実施主体・目的の妥当性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・自治体が関与すべき事業か。民間で実施できないか。</li> <li>・総合計画における目的に合致するか。課題解決に結びつくのか。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 妥当である B. 改善する余地がある C. 妥当ではない	ため池の底地管理は市であり、管理者として責任があり市の関与は妥当である。
	2. 事業の有効性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・意図した成果は確実に得られるか。</li> <li>・類似の目的を持つ事業はないか。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 有効である B. 改善の余地がある C. 有効ではない	安全柵等の設置で、水難事故を未然に防ぐことが可能である。
	3. 事業の効率性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・成果を維持したまま費用を削減する余地はあるのか。</li> <li>・将来的なコストの増加・増大の要因はあるか。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. 効率的である B. 改善の余地がある C. 効率的ではない	補助金等を活用することで、効果的な安全対策がとれ、効率的である。
	4. 緊急性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・今実施しなければならない理由。</li> <li>・実施しない場合の問題点。</li> </ul>
	評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)
	A	A. すぐに実施する必要有 B. 2~3年後に実施する必要有 C. すぐに実施する必要はない	水難事故が発生しており、事故を未然に防ぐために早急な対応が必要である。
5. 市民要望・公平性		<ul style="list-style-type: none"> <li>・どういう市民要望があるのか。</li> <li>・受益者負担は適正か。</li> <li>・公平性の点から受益の偏り(特定の地域や個人等)はないか。</li> </ul>	
評価		◎評価理由(上記の観点により記入してください)	
B	A. 多くの市民要望有 B. 一部地域・団体等の要望有 C. 要望はない	重大な事故が今後起こらないよう安全対策の実施を要望されている。	
6. 同規模他市・周辺市町村の状況		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほとんどの自治体で実施、同規模以上の自治体は実施、ほとんど実施していないが先進的な取り組みであるなど、具体的に記述</li> </ul>	
周辺自治体に確認したところ、点検を行い危険と思われる箇所に注意喚起の看板設置や転落防止の対策をほとんどの自治体が実施している。			

総合評価	■実施計画における位置づけ、財政状況による実現性	
	評価	◎評価理由
	A	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない 基本計画に記載は無いが、市民の安全確保のため実施は妥当である。
	■政策調整会議による評価	
	評価	◎評価理由
	A	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない 水難事故を未然に防ぐための安全対策の必要性を鑑み、担当課の提案通り実施するものとする。
■庁議による方針		
評価	具体的な方向性	
A	A. 実施 B. 一部実施 C. 実施しない 水難事故を未然に防ぎ、市民の安全を守るために必要な事業と認め、担当課の提案通り実施するものとする。	